

5.2.2 パーク&ライドに関する検討(ケーススタディ)

ここでは、沖縄において有効と見込まれる需要喚起方策のうち、過年度調査で検討されておらず、エリア別の展開が特に有効と考えられるパーク&ライドを対象に需要喚起方策の効果と課題を整理した。

一般的に、具体的な需要喚起方策は沿線自治体等で導入について検討することが望ましいと考えられることから、本調査では、様々な需要喚起方策の沖縄における適用可能性を研究の一環として、ケーススタディとして実施することとする。

まず、既存文献を参考にパーク&ライドの利用可能性や実現可能性が高い条件を設定し、需要喚起方策が有効なエリアを抽出する。

次に、需要喚起方策の効果把握では、県民需要予測モデルにおける鉄軌道の端末交通手段として、「自動車（運転）」が選択肢に組み込まれているため、需要予測モデルを用いて定量的に把握を行う。また、併せて課題を整理する。

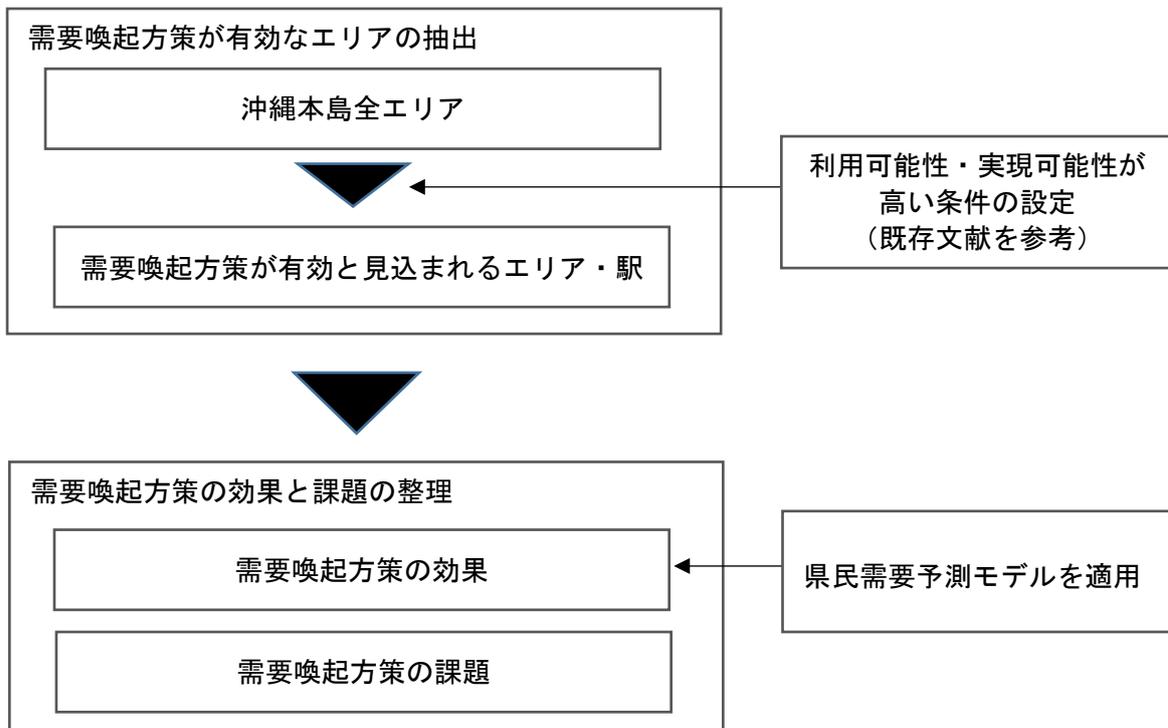


図 「パーク&ライド駐車場」の有効なエリア・駅抽出及び効果と課題の整理フロー

(1) 検討対象駅の抽出

1) 利用可能性や実現可能性が高い条件の整理

ここでは、社団法人 交通工学研究会・TDM研究会編著「渋滞緩和の知恵袋シリーズ マーケティングの視点から考える 成功する失敗するパークアンドライド（平成13年）」を参考に、パーク&ライドの利用可能性や実現可能性が高い条件を設定する。

①. 条件①：那覇市中心部に対して自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短い

パーク&ライドは、道路混雑が激しい都心部を目的地とする移動に対して、自動車で行くよりも公共交通に乗り換えた場合の所要時間が短い場合に有効であるとされている。この考え方を沖縄に適用すると、那覇中心部を目的地とする移動において、自動車で行くよりもパーク&ライドを行った場合の所要時間が短い場合に利用可能性が高くなると考えられる。

②. 条件②：幹線道路と駅が近接

自動車から短時間でアクセスできるようにするためには、幹線道路から駅が近接している場合に利用可能性が高いと考えられる。

③. 条件③：パーク&ライドの利用可能性が高いエリアの人口が多い

パーク&ライドの利用可能性が高いと見込まれるエリアに居住する人口が多い場合、自動車で行っている利用者からより多くの転換需要が見込まれると考えられる。

④. 条件④：駅付近の利便性が高い場所に駐車場用地の確保が可能

駅付近の利便性が高い場所に一定規模の駐車場を確保可能な場合、実現可能性が高いと考えられる。

社団法人 交通工学研究会・TDM研究会 名簿		
(平成13年11月1日 現在)		
代表	原田 昇	東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学
メンバー		専攻 教授
	赤羽 弘和	千葉工業大学工学部土木工学科 教授
	今西 芳一	(株)公共計画研究所 代表取締役 所長
	椎名 啓雄	警視庁交通部都市交通対策課 係長
	高橋 勝美	(財)計量計画研究所交通政策研究室 室長補佐
	多田 智	国土交通省道路局企画課道路経済調査室 課長補佐
	土屋 暁胤	警察庁交通局交通規制課 課長補佐
	中村 文彦	横浜国立大学大学院環境情報研究院 助教授
	羽藤 英二	愛媛大学工学部環境建設工学科 助手
	平石 浩之	横浜国立大学大学院環境情報研究院 助手
	牧村 和彦	(財)計量計画研究所交通研究室 室長補佐
	横山 克人	国土交通省都市・地域整備局都市交通調査室 課長補佐

図 社団法人 交通工学研究会・TDM研究会 名簿

出典：渋滞緩和の知恵袋シリーズ マーケティングの視点から考える 成功する失敗するパークアンドライド

2) 有効と見込まれるエリア・駅の抽出

利用可能性や実現可能性が高い条件に沿って、パーク&ライドが有効なエリア・駅を抽出していく。

①. 条件①:那覇市中心部に対して自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短い

パーク&ライド（鉄軌道利用）と自動車直行について、那覇市中心部（旭橋）からの所要時間を比較すると、概ね沖縄市以北においてパーク&ライドの所要時間の方が短いエリアが生じ、自動車直行からの転換可能性が高いと考えられる。

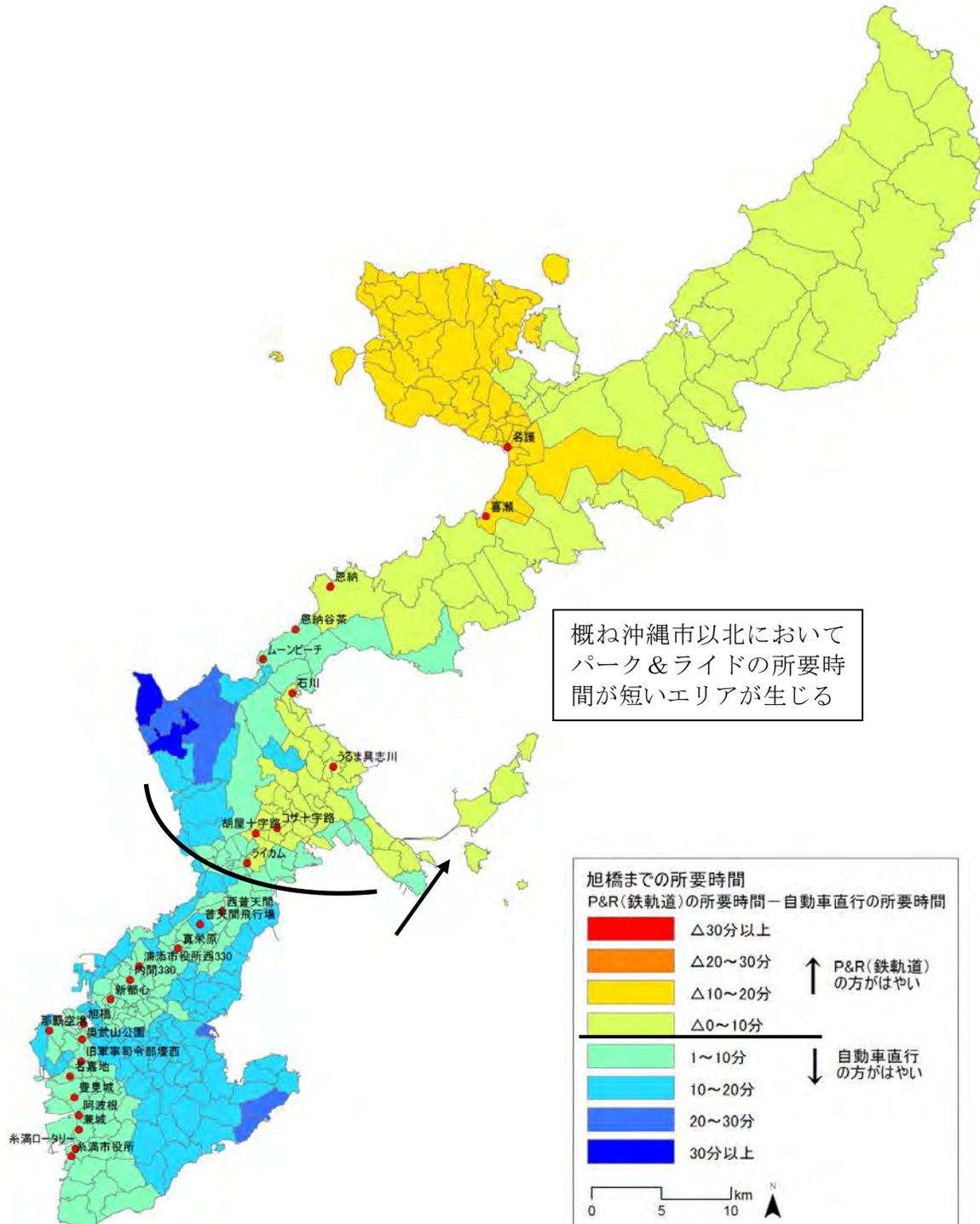


図 那覇市中心部に対して自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短いエリア

②. 条件②: 幹線道路と駅が近接

鉄軌道の駅候補地と幹線道路との位置関係に着目すると、パーク&ライド（鉄軌道利用）の所要時間が自動車直行よりも短いエリアに存在するすべての駅（名護、喜瀬、恩納、石川、うるま具志川、コザ十字路、胡屋十字路、ライカム）が県道以上の幹線道路に接続しており、パーク&ライドの利用可能性が高いと見込まれる。

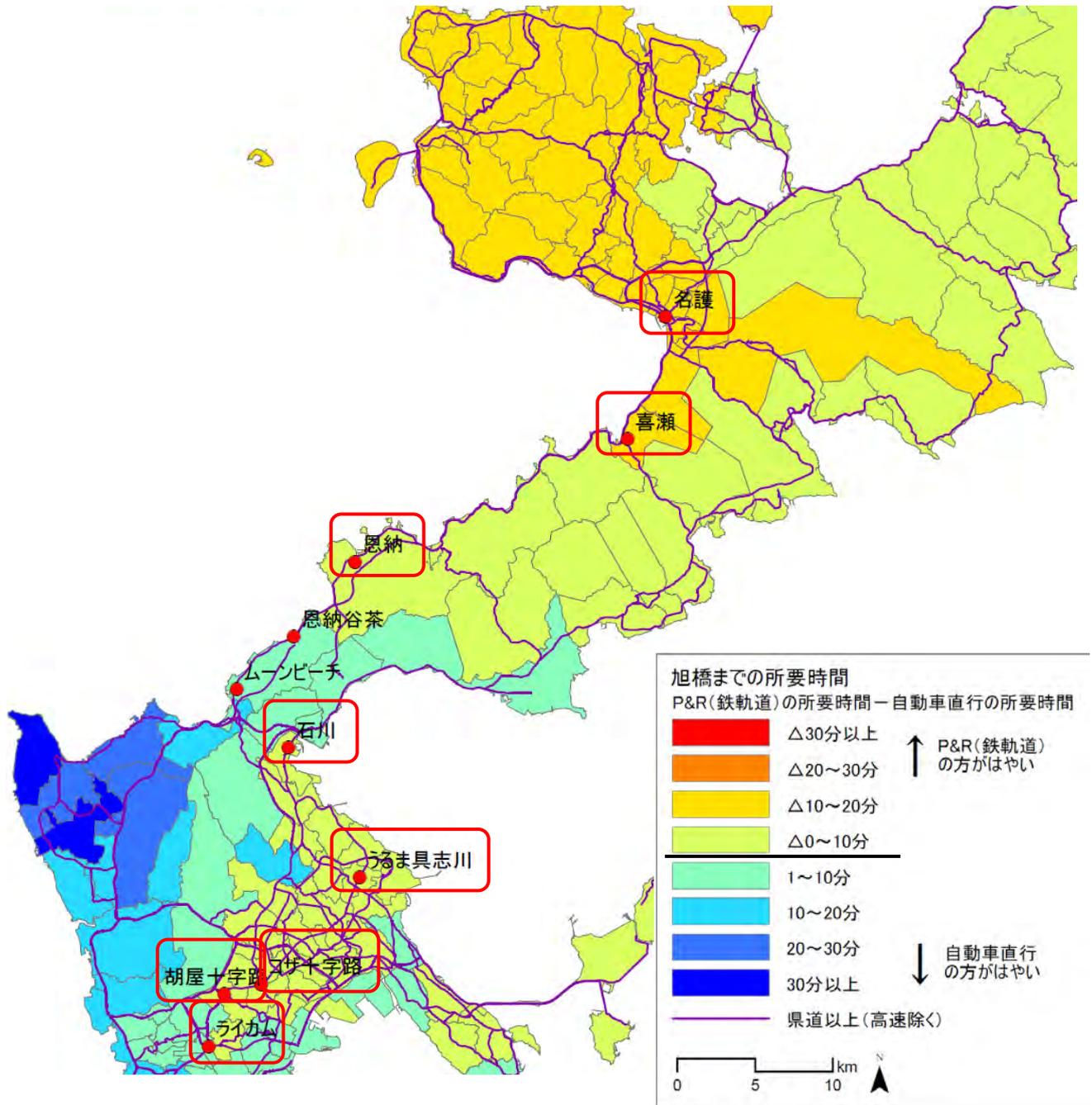


図 那覇市中心部に対して自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短いエリアにおいて幹線道路に近接している駅

③. 条件③:パーク&ライドの利用可能性が高いエリアの人口が多い

那覇中心部に対して、自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短いエリアの人口集積状況をみると、「名護」、「うるま具志川」、「コザ十字路」が最寄駅となるエリアの人口が相対的に多く、より多くの鉄軌道利用需要が見込まれると考えられる。

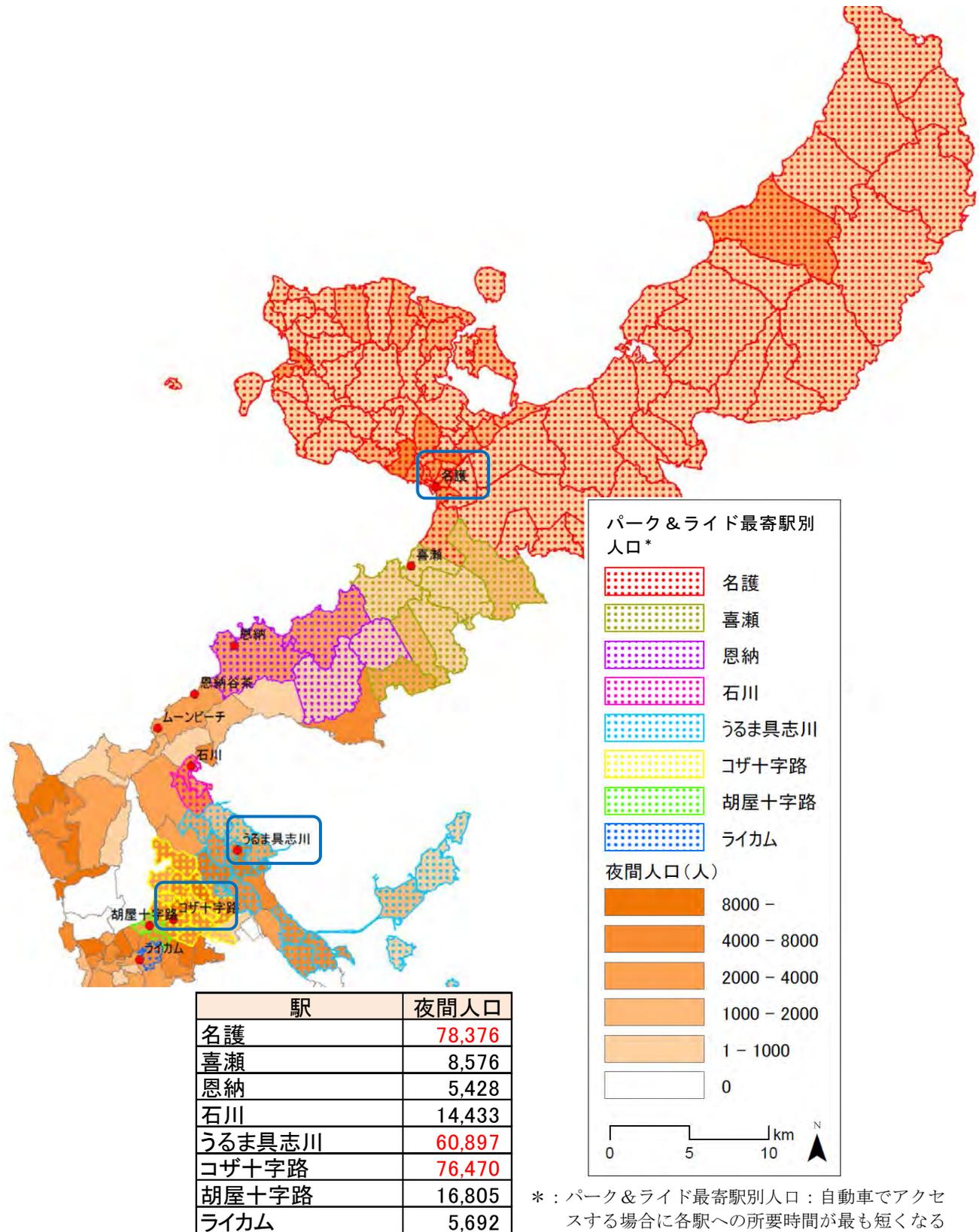


図 パーク&ライドの利用可能性が高いエリアの最寄駅別の人口